

考え究める 喜びが あります



三重大学大学院 人文社会科学研究科

[修士課程]・地域文化論専攻・社会科学専攻

出願期間

2011年1月6日(木)~13日(木)

入試日程

2011年2月5日(土)~6日(日)

合格発表

2011年2月14日(月) 午前10時頃

2011年度学生募集

長期履修
学生制度

2年間の授業料で最長4年間学べます。

※詳細は「募集要項」でご確認ください。

問い合わせ先



三重大学人文学部チーム学務担当 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL&FAX 059-231-9197 E-mail hum-gakumu@ab.mie-u.ac.jp
URL <http://www.human.mie-u.ac.jp/>

「学びたい!」という素直な気持ちにこたえ、
広く地域社会に門戸を開く21世紀型大学院が多彩なカリキュラムを用意して
あなたのチャレンジを待っています。

大学院生からのメッセージ

社会人もチャレンジを!

3年次編入で三重大学に入学し、日本中世史のゼミに属したあと、大学院に進みました。現在社会人院生として、夜の授業を中心に通い、長期履修制度を利用して、3年間で必要な単位取得と修士論文を完成させる計画を立てています。授業では古文書や崩し字、論文を読んで発表することがメインです。学部の授業とは違い、毎日がほぼ発表形式なので、仕事との両立が大変ですが、面白さは確実に倍増なので、頑張れます。三重大学は社会人に対し、門を広く開けてくれています。良い先生方も多く、恩返しが大変なくらいです。社会人だから無理だとあきらめず、一緒に頑張ってみませんか。



地域の課題の解決と実践力

33歳にて本学のアドミッションポリシーに触発され一念発起、大学院受験を決意しました。入学試験は小論文と面接ですので、受験や勉強から長らく遠ざかっていた私も挑戦しやすかったです。現在、指導教授の指導のもと、地方自治や地域コミュニティを軸に防災分野に焦点を絞り、消防団の未来と有意義性について研究をしています。もちろん長期履修制度と夜間授業をフルに活用しています。通学に往復3時間以上もかかり、子育て・仕事等、時間的に大変厳しいですが、何とかやりくりしています。なかなか顔を合わせない院生同士で触れ合える授業や懇親会などもあり、楽しい学生生活を一緒に送れますよ。



最高の環境で研究を

私は学部では三重大学人文学部の考古学研究室に所属していました。そこでまとめた卒業論文をきっかけに研究することの面白さを知り、大学院へ進学することにしました。大学院の授業では、少人数で発表形式のものが多く、自ずと上手に資料をまとめたり発表したりすることができるようになります。また、自分の専攻している考古学だけではなく、近世史・中世史の先生方の授業や法律経済系の院生と共に受ける授業があり、多角的な視野を身に付けることができます。先生方はアドバイスを求めに行くと丁寧に指導して下さるため、自身のやる気次第でより深く研究ができる最高の環境です。皆さんもぜひ一緒に大学院で研究しましょう。



その他にもホームページでたくさんの大学院生のメッセージがご覧いただけます。

人文社会科学研究科は、専門職業人の育成、社会人の生涯学習の機会提供を通じて、地域社会に貢献できるよう取り組んでいます。そのために夜間開講はもちろんのこと、長期履修学生制度の利用も可能にしました。長期履修学生制度の利用を希望する方は、出願時に長期履修申請を行う必要があります。

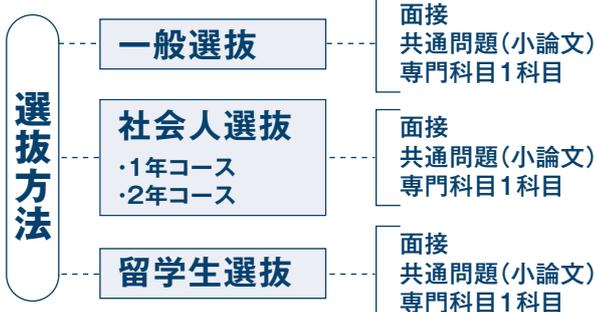
修士課程 地域文化論専攻

◆地域社会文化論専修

歴史、思想、社会学、地理学、情報学および環境学等の授業科目を幅広く提供することにより、日本、アジア、オセアニア、ヨーロッパ、アメリカの諸地域における社会と文化について教育研究を行います。

◆地域言語文化論専修

日本、中国およびその周辺、ヨーロッパ、アメリカの言語と文学に関する授業科目を幅広く提供することにより、それぞれの地域社会における言語文化について教育研究を行います。



※今年度から、共通問題(小論文)を導入します

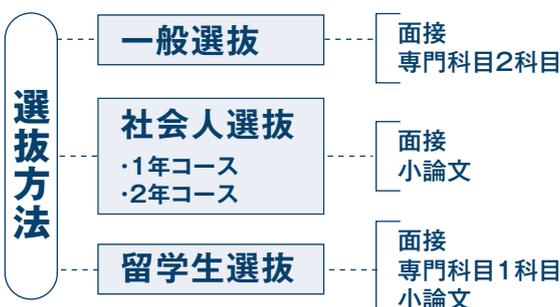
修士課程 社会科学専攻

◆地域行政政策専修

政治学、公法学、経済学(経済理論・経済政策)に関連する授業科目を幅広く提供することにより、地域の公共的な政策課題に関する教育研究を行います。

◆地域経営法務専修

経営学、民事法学、経済学(経済史・経済学各論)に関連する授業科目を幅広く提供することにより、地域で活動する企業・NPO・市民の経済的・法的課題に関する教育研究を行います。



科目等履修生についても募集しています。詳しくは表面お問い合わせ先まで。